

地域に溶け込んだ3年間



「あおもり留学」1期生 千葉さん、高村さん

三戸 生徒を全国募集する「あおもり留学」1期生として、三戸町の三戸高校で学んだ千葉優思さん（千葉県流山市出身）と高村有輝さん（名古屋市出身）が3日、町役場を訪れ、沼沢修二町長に卒業を報告した。2人は地域に溶け込みながら過ごした同町での3年間の思い出を振り返るとともに、それぞれ次の進路への決意を力強く語った。

千葉さんは同校のクリエイティブ部に所属。2年時には全国高校総合文化祭で、三戸町の少子高齢化をはじめとする地域課題の解消をテーマにした活動を報告し、最優秀賞を受賞した。「自分たちの活動が評価され、大きな自信になった。地域の現状を知り、課題解決に向けて考える力や独創性を身に付けることができた」と話す。

4月からは神奈川県内の大学で心理学を学び、心の健康を支える国家資格「公認心理師」の取得を目指す。「将来はスクールカウンセラーとして沼沢町長(左)に卒業を報告する千葉さん(右)と高村さん」

三戸高卒業 新たな一歩

高村さんは在学中、祭りや地域行事に積極的に参加し、念願だったドローン操縦の資格も取得した。「入学当初は人見知りだったが、いろいろな大人たちと関わっていくうちに少し直ったと思う」と成長を実感する。下校途中、町民から「お帰り」と声をかけられた思い出に触れ、「地域から温かく受け入れてもらえていると感じた」と笑顔で話した。4月からは愛知県内の看護系大学に進み、看護師を志すという。

沼沢町長は「2人は町に新しい風を吹き込み、在校生にも大きな刺激を与えてくれた。三戸は2人にとって第二の故郷。夢の実現に向けて町を挙げて応援していきたい」と激励した。

告知した。2人は地域に溶け込みながら過ごした同町での3年間の思い出を振り返るとともに、それぞれ次の進路への決意を力強く語った。

（藤田幸雄）